テグラアーチ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡し下さい。

■梱包明細書

1 アーチセット

タイプ		名　　称	員数
アーチAタイプ		アーチA本体	1
アーチBタイプ		アーチB本体	1
		支持柱セット	2
		支持柱組付ネジ M5×14サラ	4
アーチDタイプ		アーチD本体	1
		支持柱セット	2
	ポリ袋入	照明台取付ブラケット	2
		アーチ固定ナット M8	2
		アーチ固定平座金 M8	2
		支持柱組付ネジ M5×14サラ	4
アーチEタイプ		アーチE本体	1
アーチFタイプ		アーチF本体	1
アーチGタイプ		アーチG本体	1
アーチHタイプ		アーチH本体	2
		ネームプレート	1
	ポリ袋入	ネームプレート組付ネジ φ5×30	8
		ネームシールセット	1
		アーチ本体取付ネジ M5×14サラ	4
アーチIタイプ		アーチI本体	1
アーチJタイプ		アーチJ本体	1

※テグラアーチにアーチCタイプは取付け出来ません。

2 柱セット

名　　称		員数 右	員数 左
柱本体(右)		1	ー
柱本体(左)		ー	1
ポリ袋入	ベース調整ボルト	3	3
	ホールインアンカー	3	3
取付説明書		1	ー

3 キャップセット

区分		名　　称	員数
A		キャップ本体A(マイルドブラック)	2
	ポリ袋入	アーチ固定用十字穴付六角ボルトM6×20	4
		キャップ取付ネジ φ4×30トラス	8
		キャップ取付ワッシャー M4用平座金	8
		キャップ取付ゴムワッシャー	8
B		キャップ本体B(スモークグリーン)	2
	ポリ袋入	アーチ固定用十字穴付六角ボルトM6×20	4
		キャップ取付ネジ φ4×30トラス	8
		キャップ取付ワッシャー M4用平座金	8
		キャップ取付ゴムワッシャー	8

4 持ち送りカバーセット

名　　称		員数 A マイルドブラック 右	員数 A マイルドブラック 左	員数 B スモークグリーン 右	員数 B スモークグリーン 左
持ち送り取付カバー(右)		2	ー	2	ー
持ち送り取付カバー(左)		ー	2	ー	2
持ち送り取付カバー組み付けネジ M4ナベ		4	4	4	4

5 照明セット

名　　称		員数 A	員数 B
照明グローブ φ200		1	1
照明台座		1	1
白熱球 20W		1	1
ポリ袋入	照明台座組付ネジ(スカラ用) M5×30ナベ	2	2
	照明台座組付ネジ(アソシア用) φ5×50ナベ3種	2	2
	スリーブ EC2－3	2	2

6 単独用タイル下地セット

名　　称	員数
タイル取付フィンD	2
タイル取付フィンD取付ネジ M5×10ナベ	8

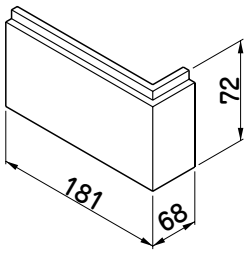
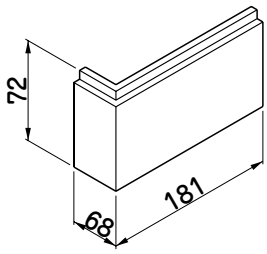
7 調整金具セット

名　　称		員数 A マイルドブラック	員数 B スモークグリーン
調整金具本体		右上1右下1	右上1右下1
ポリ袋入	本体取付ボルト M5×25(十字穴付)[スカラ用]	8	8
	本体取付ボルト M5×20(十字穴付)[テグラ用]	8	8
	六角ボルト(バネ座金付)	8	8
	(シャフト用)ワッシャー	2	2

8 タイルセット

名　　称	入数	員数
曲右(181+68)	36	3
曲左(68+181)	36	3

<タイル形状一覧>

区分	曲　右	曲　左
形状番号	タイル02	タイル03
形状		

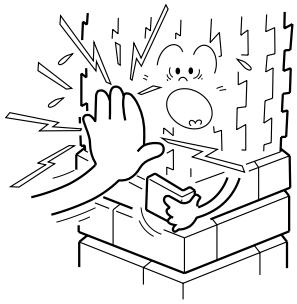
9 接着剤セット(4本入)RUE92

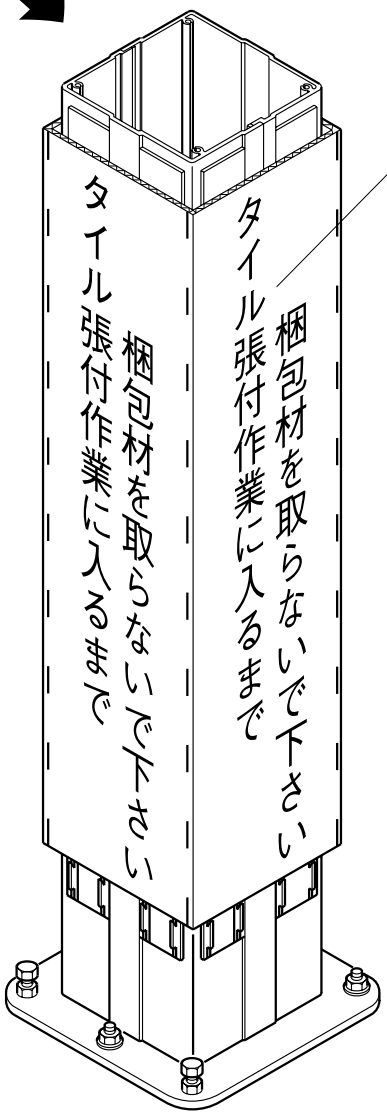
名　　称	員数
接着剤(333mℓ)	4

施工上の留意点とお願い

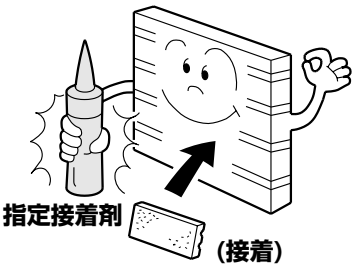
1）下地材に関する留意点

■柱部、タイル引っ掛けフィンはとがっていて手等を切る恐れがあります。施工の際十分注意し、**タイル張付作業に入るまで梱包材を取らないで下さい。**





■タイルの接着には必ず当社指定の接着剤を使用して下さい。他の物を用いますと接着剤に含まれる有機溶剤で下地剤が侵されたり、接着不良を起こしたりします。



2）タイルに関する留意点

■タイルはJIS A5209(陶磁器質タイル)で種類・形状および寸法・外観・反り等の基準が規定されており、テグラアーチのタイルもこれに準じております。ただし、長さ、幅、反りについては許容値が大きい事をご承知おき下さい。

■タイルには焼物特有の色幅があり、これが独特の風合となります。「レンガ色」は製法上、色調のバラツキ色幅が大きくなり、虹状に見える場合があります。

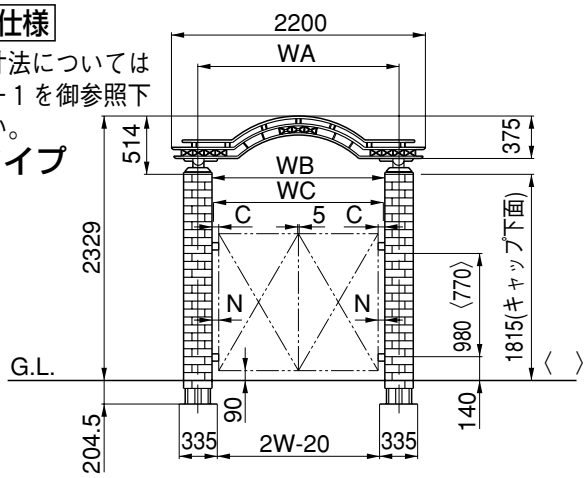
A365_200208A

1-1.姿図及び基本寸法(門扉06-07仕様タイプ)

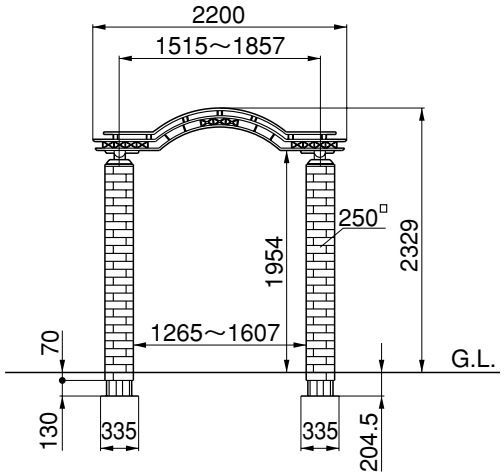
門柱仕様

※各寸法については表－１を御参照下さい。

Aタイプ



単独仕様

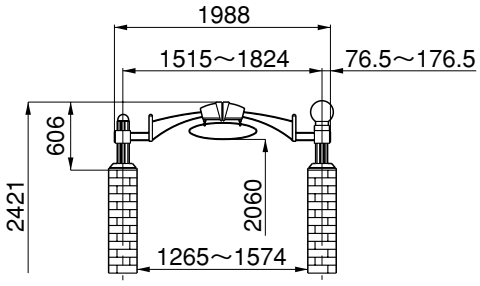


※単独仕様の場合は柱芯々で1515～1715までの間で自由に調整が可能です。

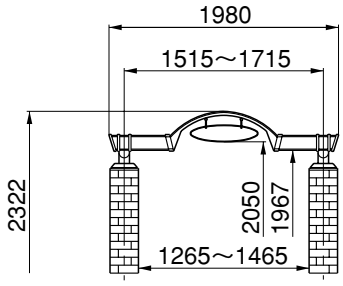
表－１

	W	WA(柱芯々)	WB(柱内々)	WC(ヒンジ芯々)	C(門扉面～ヒンジ芯)	N(ヒンジ芯～柱面)
ヒンジ芯φ13	600	1515	1265(2W+65)	1237(2W+37)	16	14
	700	1715	1465(2W+65)	1437(2W+37)	16	14

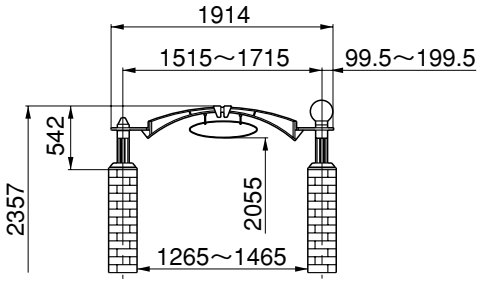
Bタイプ



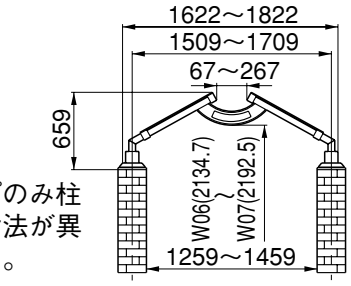
Gタイプ



Dタイプ

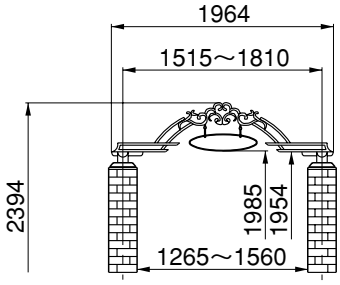


Hタイプ

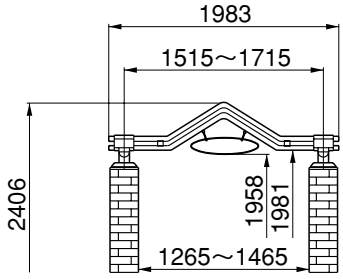


※Hタイプのみ柱芯々の寸法が異なります。

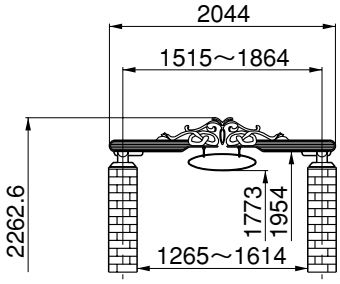
Eタイプ



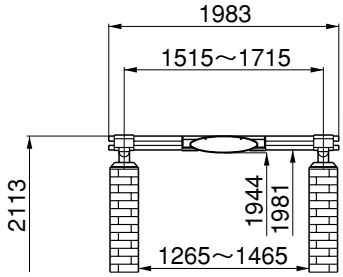
Iタイプ



Fタイプ



Jタイプ



A365_200208A

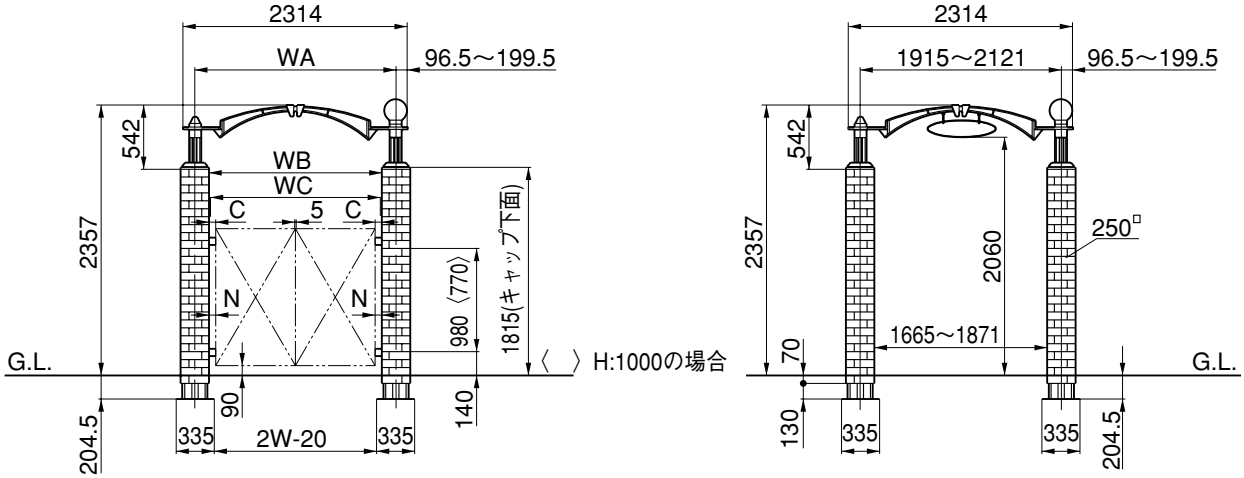
1-2.姿図及び基本寸法 (門扉08-09仕様タイプ)

※門扉08-09仕様のあるのは、D,G,I,Jタイプのみ

門柱仕様　　単独仕様

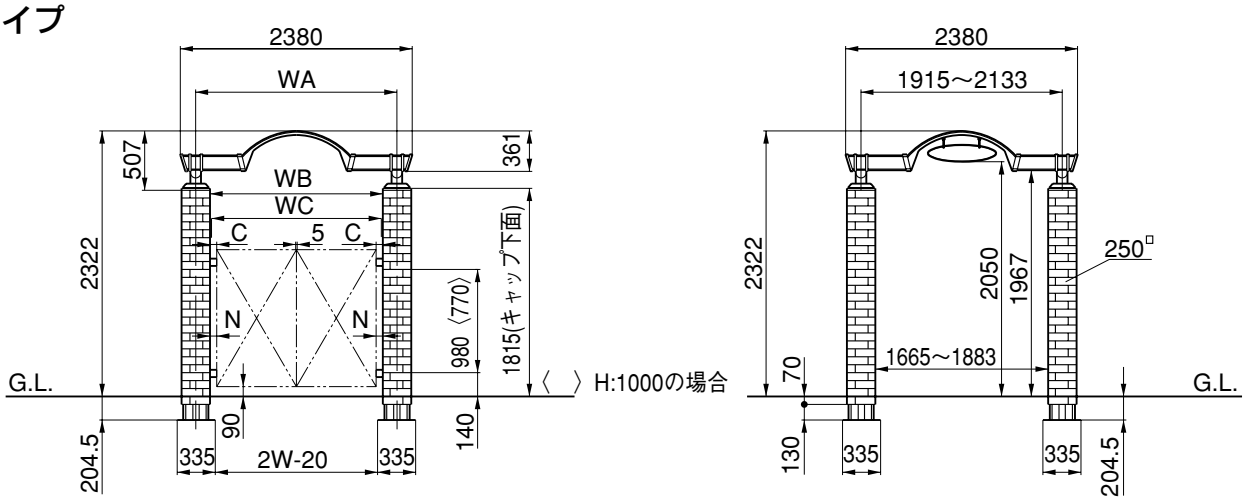
※各寸法については表ー 2 を御参照下さい。

Dタイプ



門柱仕様　　単独仕様

Gタイプ



表ー 2

	W	WA(柱芯々)	WB(柱内々)	WC(ヒンジ芯々)	C(門扉面～ヒンジ芯)	N(ヒンジ芯～柱面)
ヒンジ芯φ13	800	1915	1665(2W+65)	1637(2W+37)	16	14
	900	2115	1865(2W+65)	1837(2W+37)	16	14

A365_200208A

1-3.姿図及び基本寸法 (門扉08-09仕様タイプ)

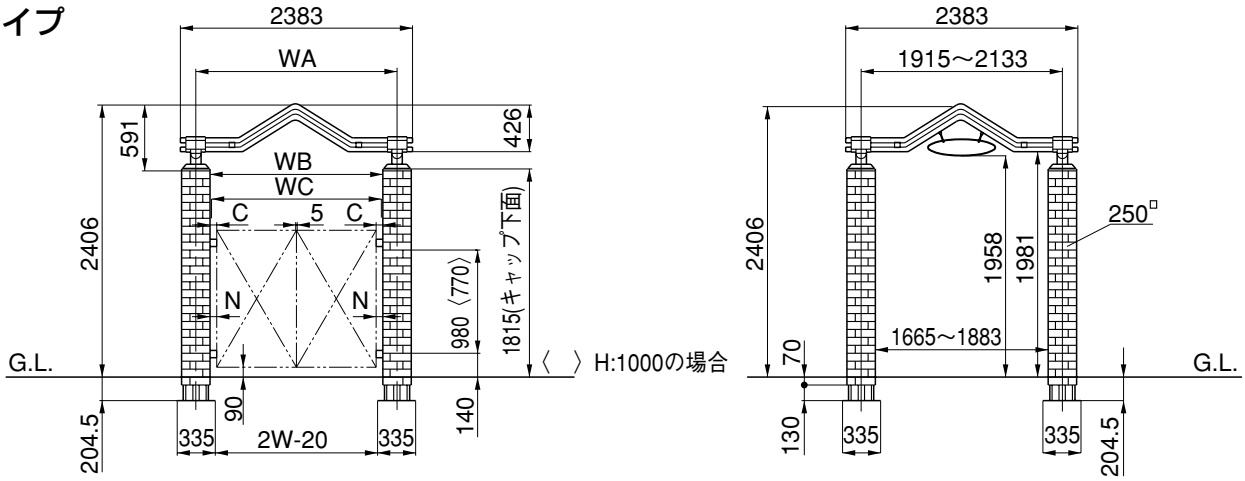
※門扉08-09仕様のあるのは、D,G,I,Jタイプのみ

門柱仕様

※各寸法については表ー 3 を御参照下さい。

単独仕様

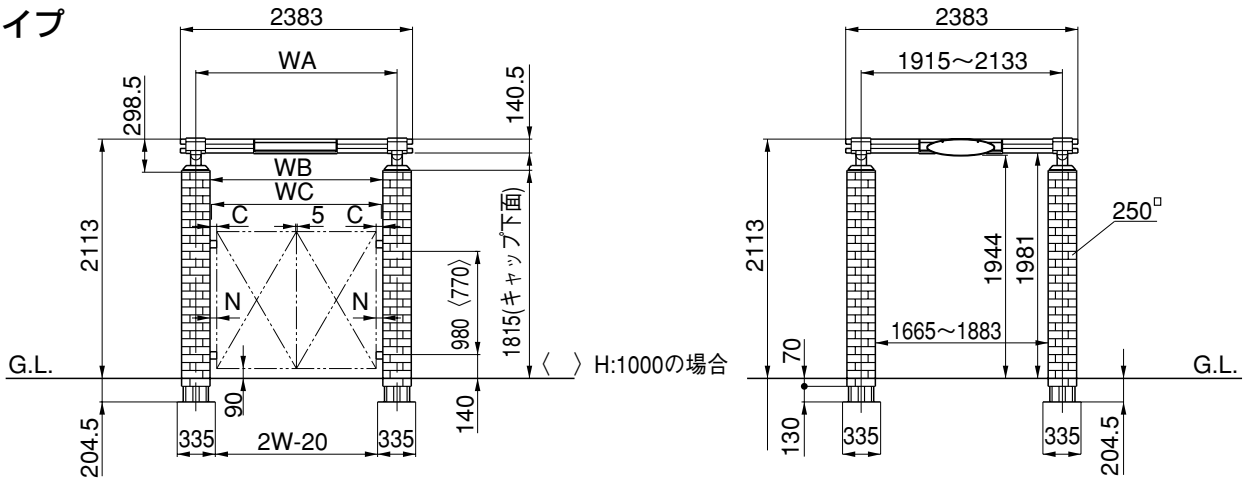
Ｉタイプ



門柱仕様

単独仕様

Ｊタイプ

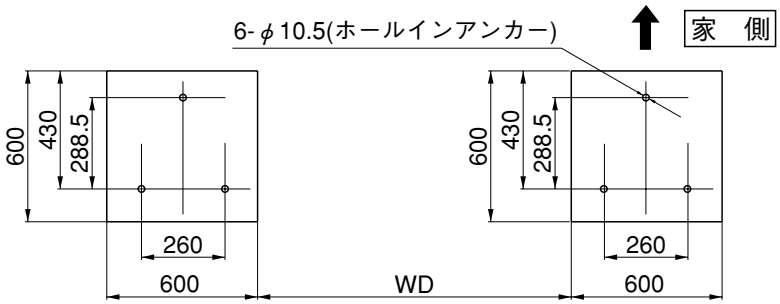


表ー 3

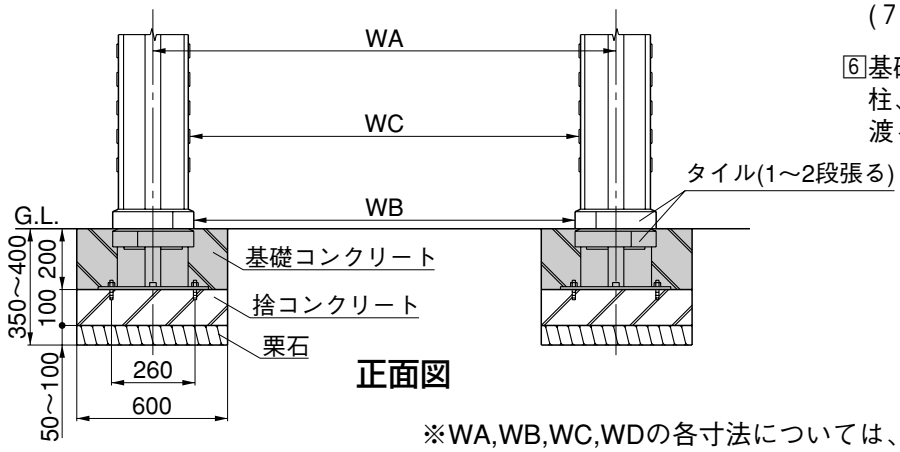
	W	WA(柱芯々)	WB(柱内々)	WC(ヒンジ芯々)	C(門扉面～ヒンジ芯)	N(ヒンジ芯～柱面)
ヒンジ芯φ13	800	1915	1665(2W+65)	1637(2W+37)	16	14
	900	2115	1865(2W+65)	1837(2W+37)	16	14

A365_200208A

2-1.柱の施工



(図－1)



正面図

1 基礎施工図の要領で捨コンクリートを施工して下さい。(図－1参照)

2 墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ(φ10.5)を行って下さい。
(2－2参照)
(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行って下さい。)

3 ホールインアンカーを打ち込んで下さい。

4 柱の固定後、ダンボールをはずして下さい。

5 下から1～2段のタイルを張って下さい
(7－1～7－4タイル張りの項参照)

6 基礎コンクリートを打設します。特に柱、ベースプレート廻りには充分行き渡る様にして下さい。

※WA,WB,WC,WDの各寸法については、下記表1～3を御参照下さい。

表－1

	W	WA(柱芯々)	WB(タイル内々)	WC(柱内々)	WD(基礎内々)
ヒンジ芯φ13	600	1515	1265(2W+65)	1293	915
	700	1715	1465(2W+65)	1493	1115

表－2　※アーチHタイプのみです。

	W	WA(柱芯々)	WB(タイル内々)	WC(柱内々)	WD(基礎内々)
ヒンジ芯φ13	600	1509	1259(2W+59)	1287	909
	700	1709	1459(2W+59)	1487	1109

表－3

	W	WA(柱芯々)	WB(タイル内々)	WC(柱内々)	WD(基礎内々)
ヒンジ芯φ13	800	1915	1665(2W+65)	1693	1315
	900	2115	1865(2W+65)	1893	1515

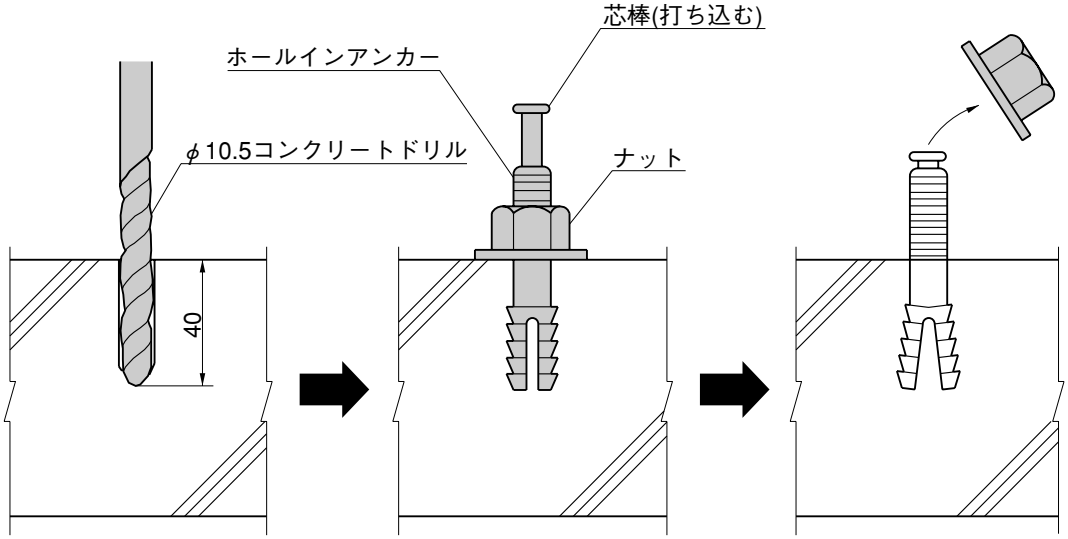
2-2.ホールインアンカーの施工

1直径10.5mmのコンクリートドリルで深さ40mmの下穴をあけて下さい。

2ホールインアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んで下さい。

3穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込みます。

4ナットを一担、取りはずして下さい。

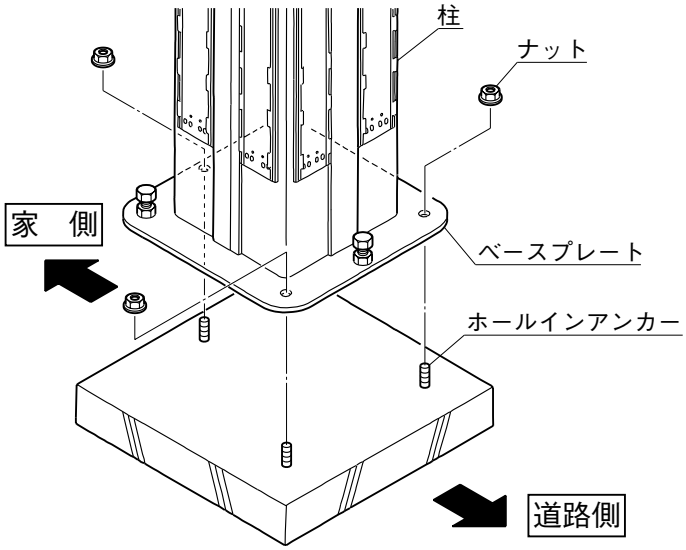


2 - 3 .柱の固定

1ベースプレートをホールインアンカーにナットで仮固定します。

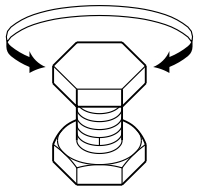
2レベルを調整して下さい。

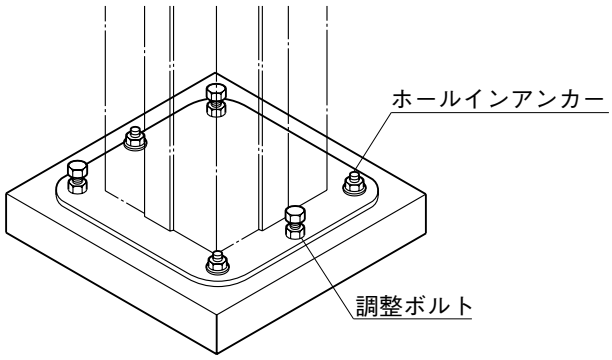
3調整後、全てのナットを本締めして下さい。



<レベルの調整方法>

1調整ボルトを左右にまわし、水平・垂直を調整して下さい。

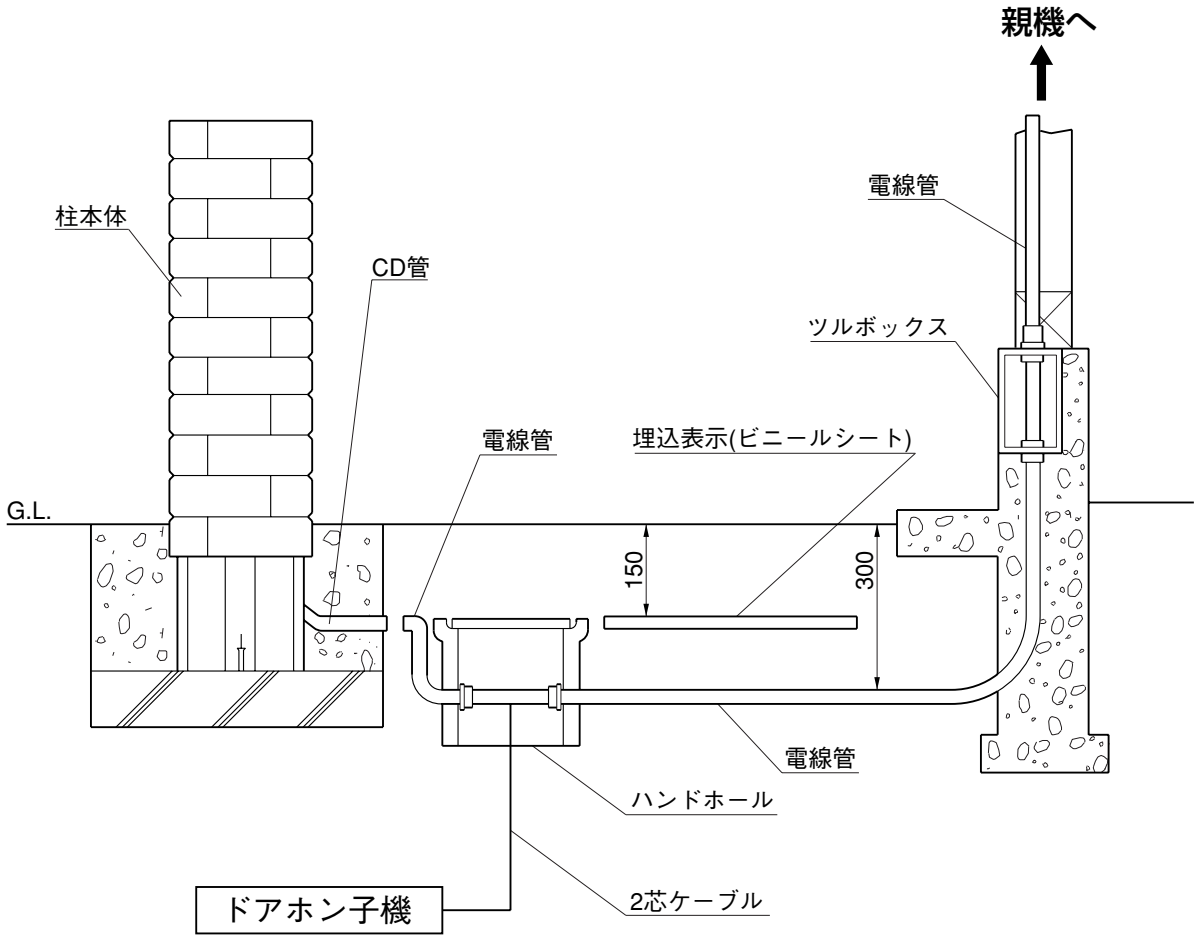




A365_200208A

3.屋内までの配管及び配線

柱を埋め込む前に屋内部分まで配管して下さい。



※電気工事は必ず電気工事店様が行って下さい。

ー注意事項ー

1 屋内(親機)からライトまでの配線は落雷時の器具破損や誤動作を防止するため、架空配線でなく、地中配線をして下さい。

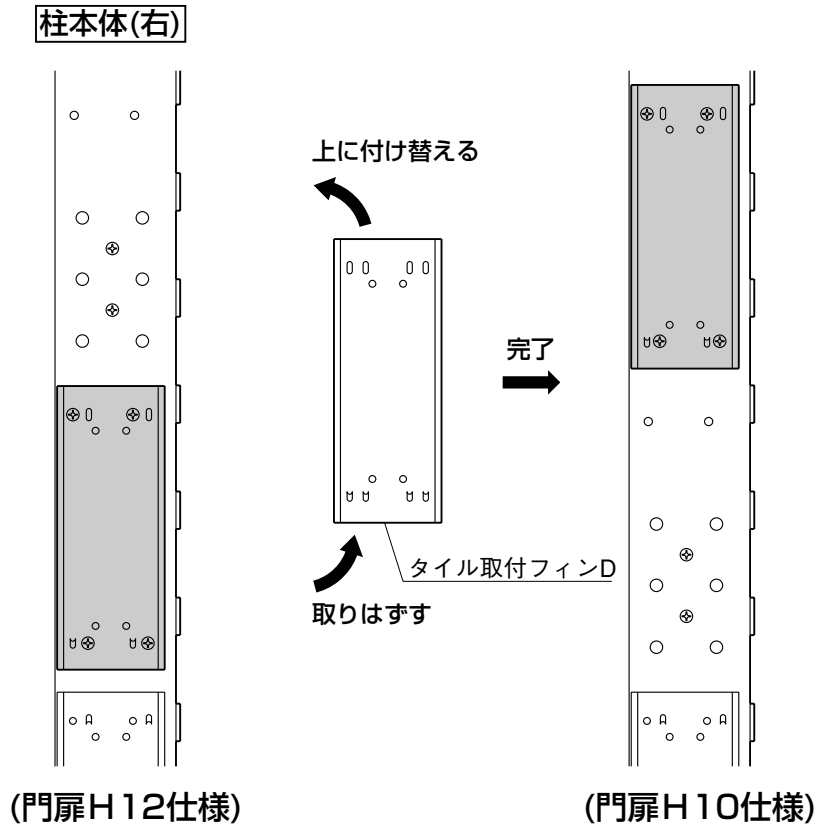
2 地中配線の配管は将来掘り起こすことがない場所を選んで下さい。

3 配管の上には、ビニールシート(200～300mm幅)で埋込表示をして下さい。

4 配管距離が長い場合、または曲がりが2カ所以上になる場合は、ハンドホールを設けて下さい。
この場合、配管内に水が侵入しないようパテなどでコーキングし、ハンドホール内で電線の接続は行わないで下さい。

A365_200208A

4-1.門柱仕様(調整金具取付位置の変更)



※柱は工場出荷時において門扉H12，14が吊れる状態にセットされています。門扉H10を吊る場合は、左図の作業が必要です。

1 4箇所のM5ナベビスをはずし、タイル取付フィンDをはずします。

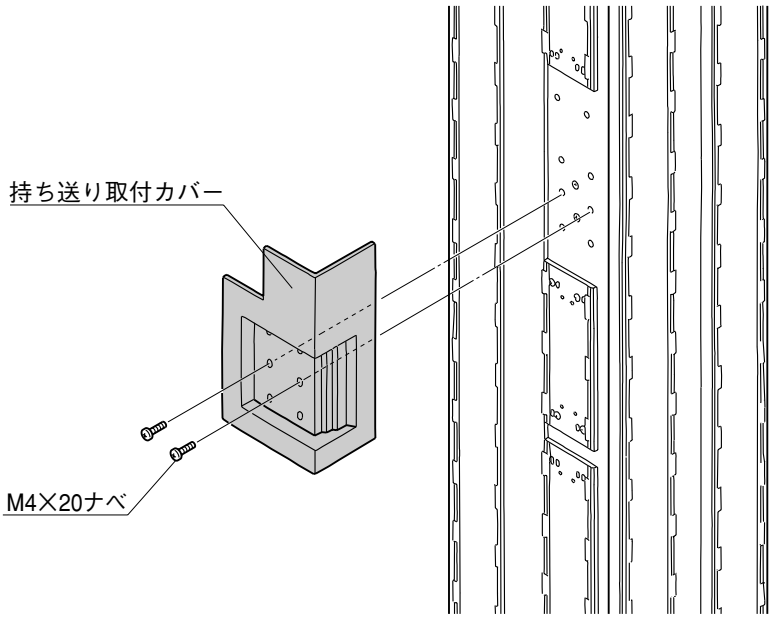
2 タイル取付フィンDを上側に付け替えて、門扉H10仕様の調整金具取付孔が出るようにします。

※柱本体(左)についても同様の作業を行って下さい。

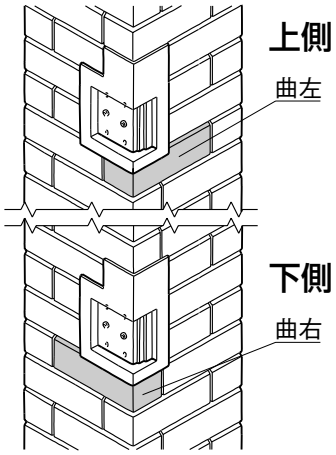
※タイルを1枚引っ掛けるなどしてタイル取付フィンDの位置を調整して下さい。

4-2.門柱仕様(持ち送り取付カバーの取付け)

1 柱本体に持ち送り取付カバーをM4×20ナベで固定します。



柱本体(右)



柱本体(右)

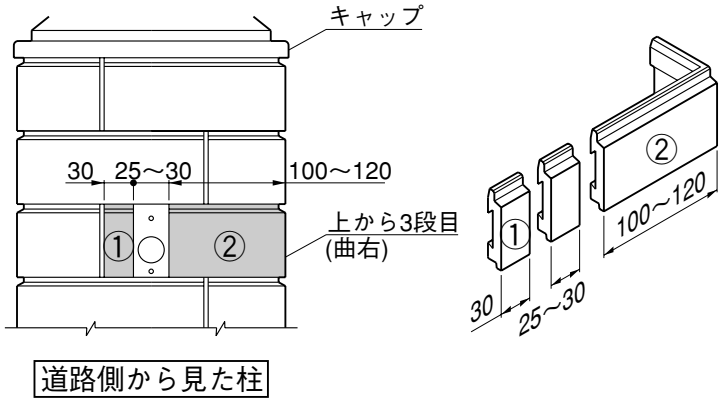
※持ち送り取付カバーを固定する前に上図のタイルを先に接着して下さい。(7-1～7-4タイル張りの項参照)

※柱本体(左)についても同様の作業を行って下さい。

※タイルの割付け上、タイル曲右と曲左が上図と反対になる場合があります。

A365_200208A

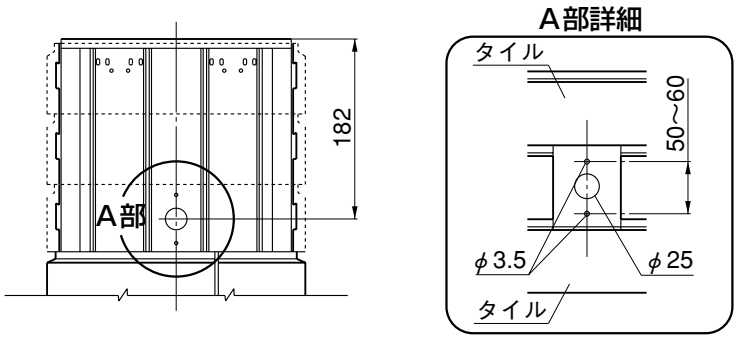
4-3.オプション部品の取付け(照明Hを取付ける場合)



1 タイルの割付け及びカット寸法

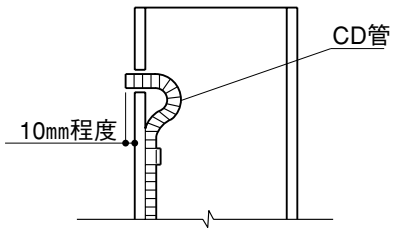
●照明取付部のタイル張りは照明取付金具取付加工時に行なって下さい。
照明取付部のタイル割付けは左図を参照下さい。

※タイルの割付け上タイル曲左である場合、左図と左右対称にカットして下さい。



2 照明取付金具取付孔及びCD管取出の孔加工

●柱のセンターに取付金具取付孔を2箇所、CD管取出し孔を1箇所に、ドリル及びホルソーなどで孔加工をお願いします。

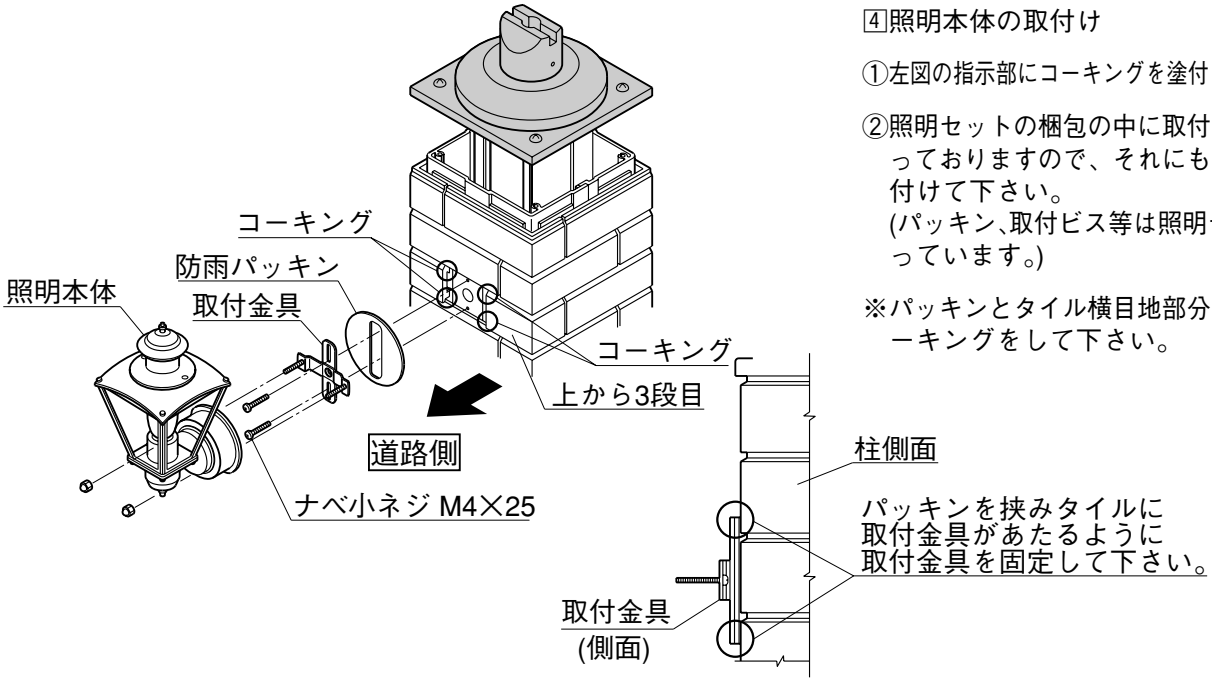


(柱断面)

3 CD管の加工

●柱内部のCD管を取出し孔から10㎜程度出る位にカットして配線をして下さい。

電気工事は必ず電気工事店に御依頼下さい。
(アースは必ず配線して下さい。)



4 照明本体の取付け

①左図の指示部にコーキングを塗付して下さい。

②照明セットの梱包の中に取付説明書が入っておりますので、それにもとづいて取付けて下さい。
(パッキン、取付ビス等は照明セットに入っています。)

※パッキンとタイル横目地部分の隙間にコーキングをして下さい。

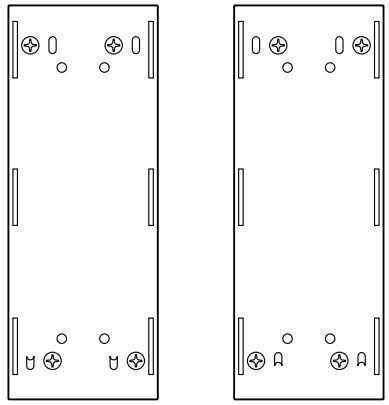
A365_200208A

5.単独仕様(単独用タイル下地の取付け)

※柱は工場出荷時において門扉H12，14が吊れる状態にセットされています。門扉を吊らないで御使用される際は、単独用タイル下地セットを２セットお求めになり、下図を参照の上作業を行って下さい。

A部詳細

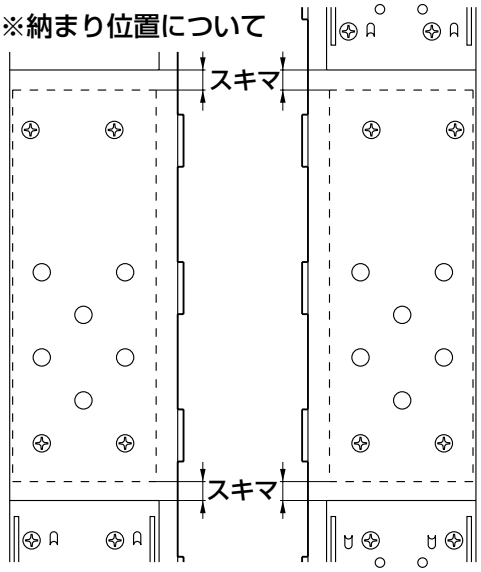
※ビス止め位置について



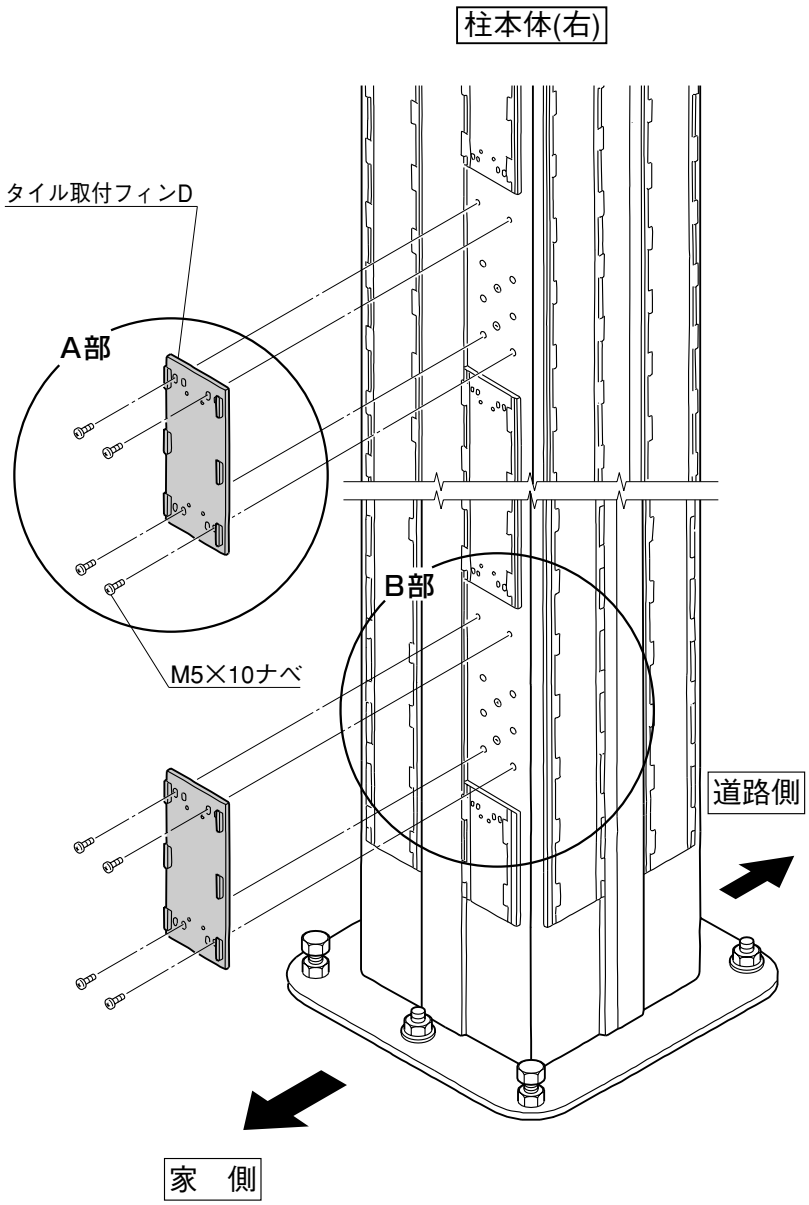
柱本体(右)の場合　柱本体(左)の場合

B部詳細

※納まり位置について



柱本体(右)の場合　柱本体(左)の場合



1 単独用タイル下地セット内のタイル取付フィンDのフィンの向き(尖った方が上です。)に注意して、上図の様に取付けて下さい。
尚、取付け後、タイル取付フィンDと最初より付いているフィンとの間に多少のスキマが空きますが、タイルを引っ掛ける上では問題ありません。

※柱本体(左)についても同様の作業を行って下さい。

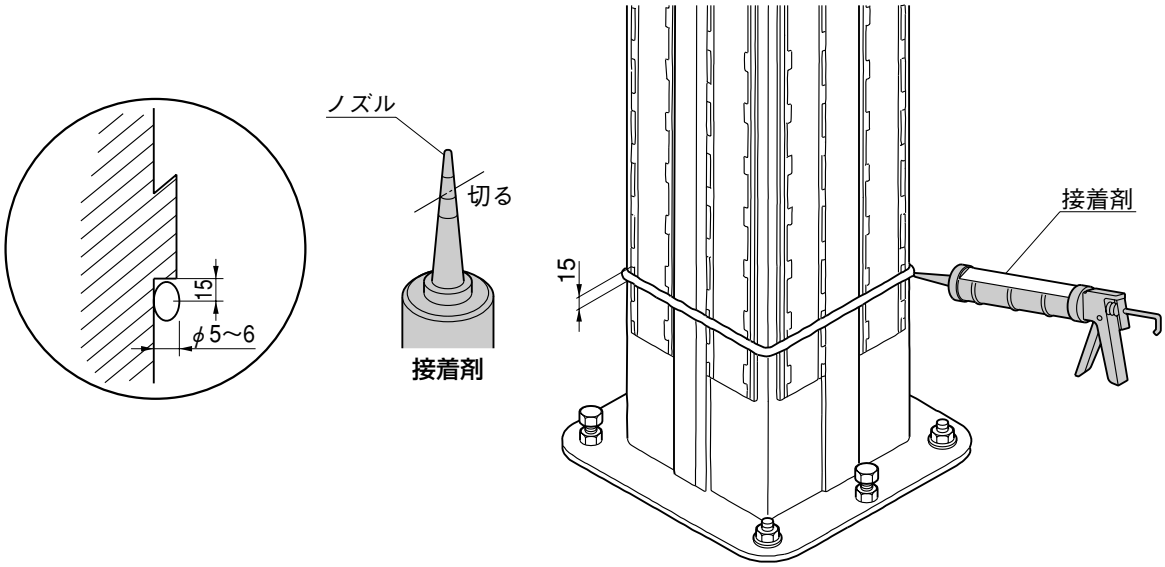
A365_200208A

6.接着剤の塗布

1接着剤は当社指定の物を必ずご使用下さい。

2接着剤のノズルをカッター等で切って下さい。(ノズルに付いている溝のうち下から2番目を切りますと所定の量を出し易くなります。(φ5～6)

3タイル引っ掛け溝の下約15mmの所へ塗布して下さい。(塗布量の目安は接着剤1本で1㎡です。)



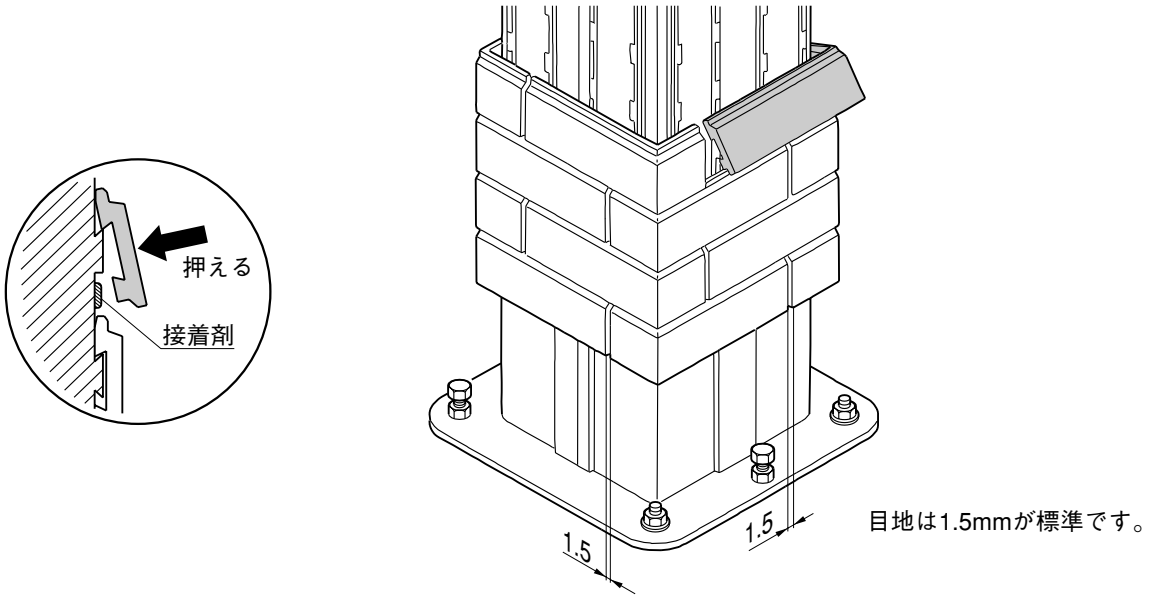
7-1.タイル張り

1タイルは下段から上段に張って行きます。

2引っ掛け溝にタイル上部を引っ掛けてから接着剤に押し付けます。

3目地の調整は接着剤塗布後60分以内に行って下さい。

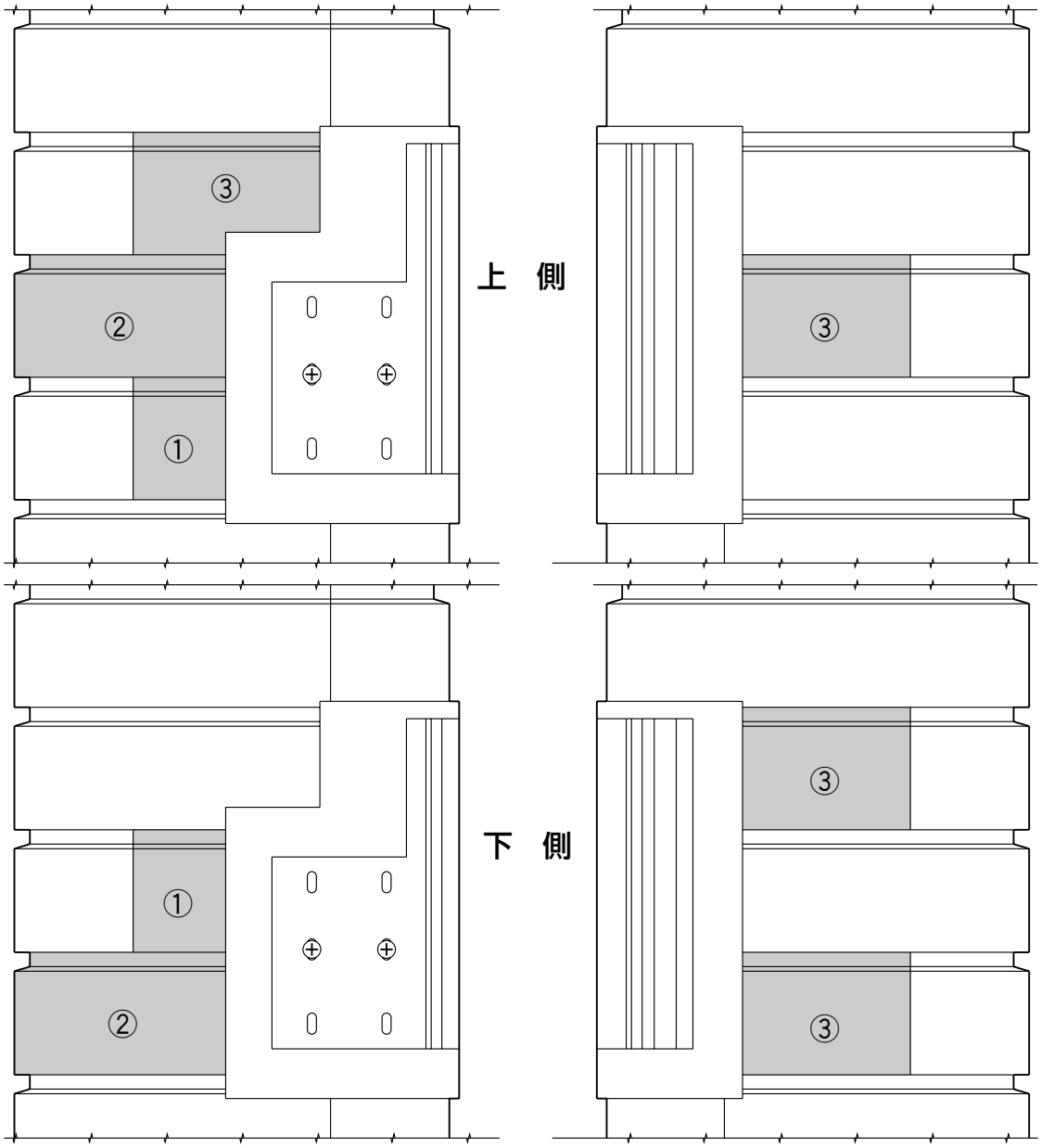
※タイル表面に接着剤が付着しない様にご注意下さい。万一付着した場合は硬化する前に拭き取って下さい。



A365_200208A

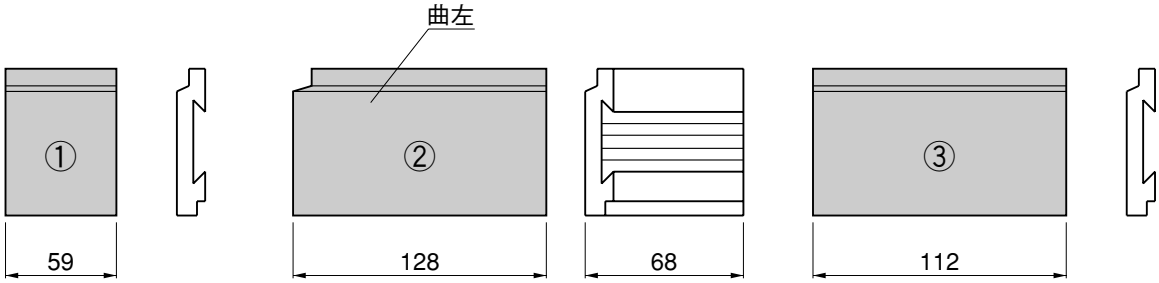
7-2.持ち送り取付カバー部のタイルの割付け(柱本体・右)

1 タイルの割付け
タイルは持ち送り取付カバーを取付けた後、張って下さい。
持ち送り取付カバー部のタイル割付は下図を参照して下さい。



柱本体(右)

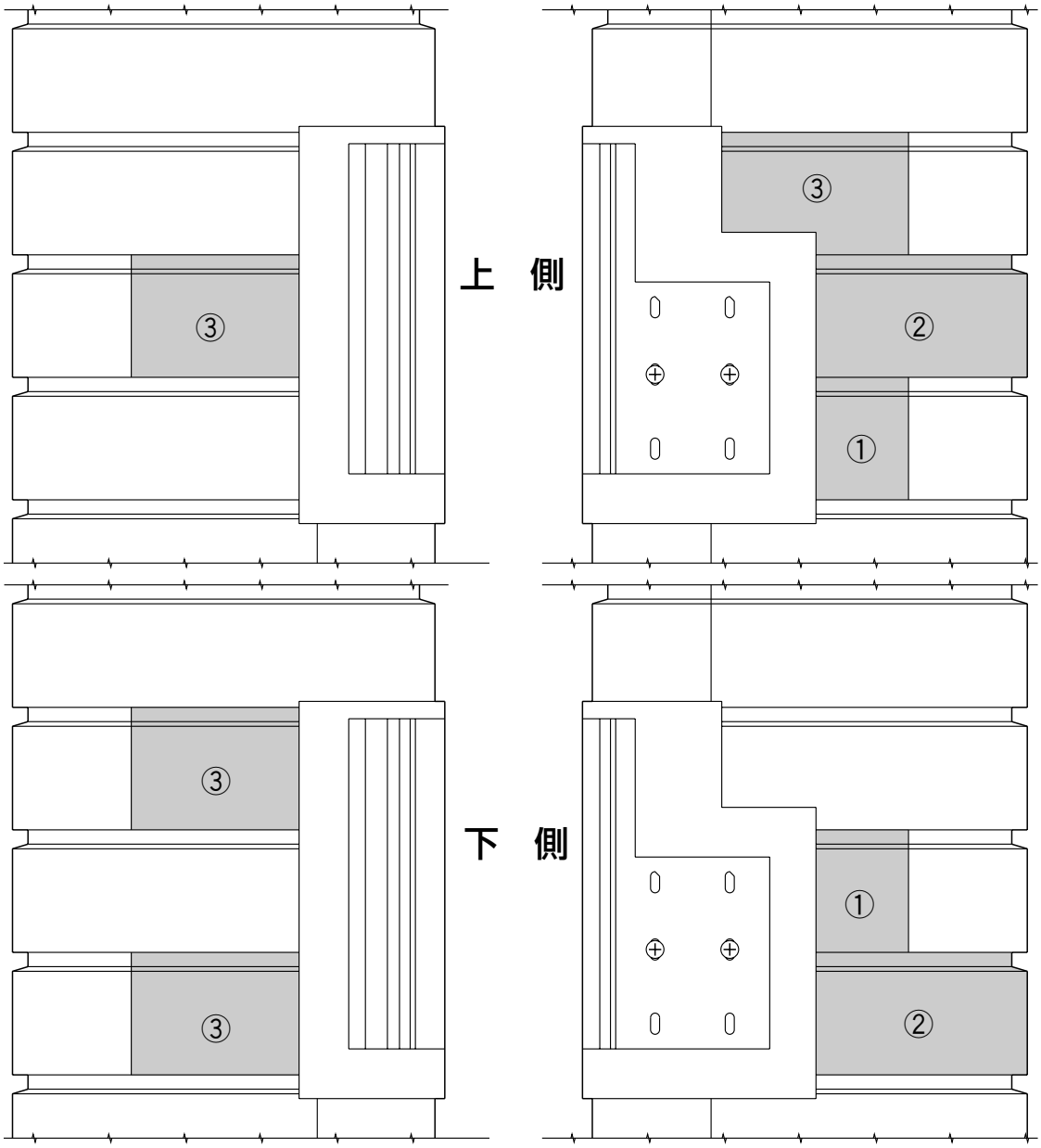
2 タイルのカット
下図の通りタイルをカットして下さい。
※カット面を持ち送り取付カバー部内に納めた方が目地がキレイに揃います。



A365_200208A

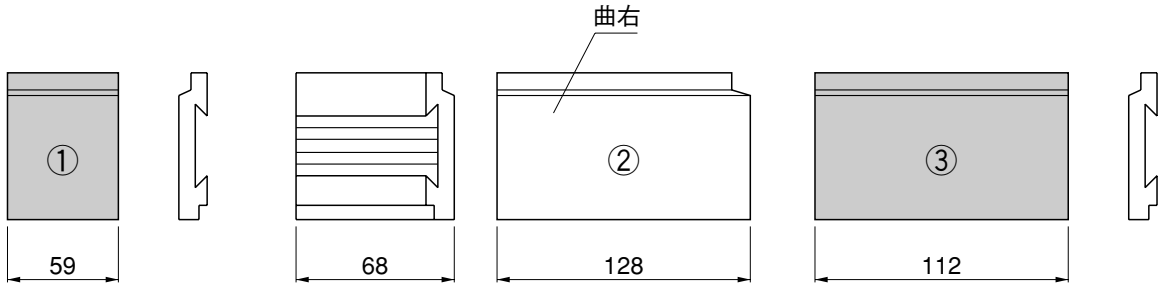
7-3.持ち送り取付カバー部のタイルの割付け(柱本体・左)

1 タイルの割付け
タイルは持ち送り取付カバーを取付けた後、張って下さい。
持ち送り取付カバー部のタイル割付は下図を参照して下さい。



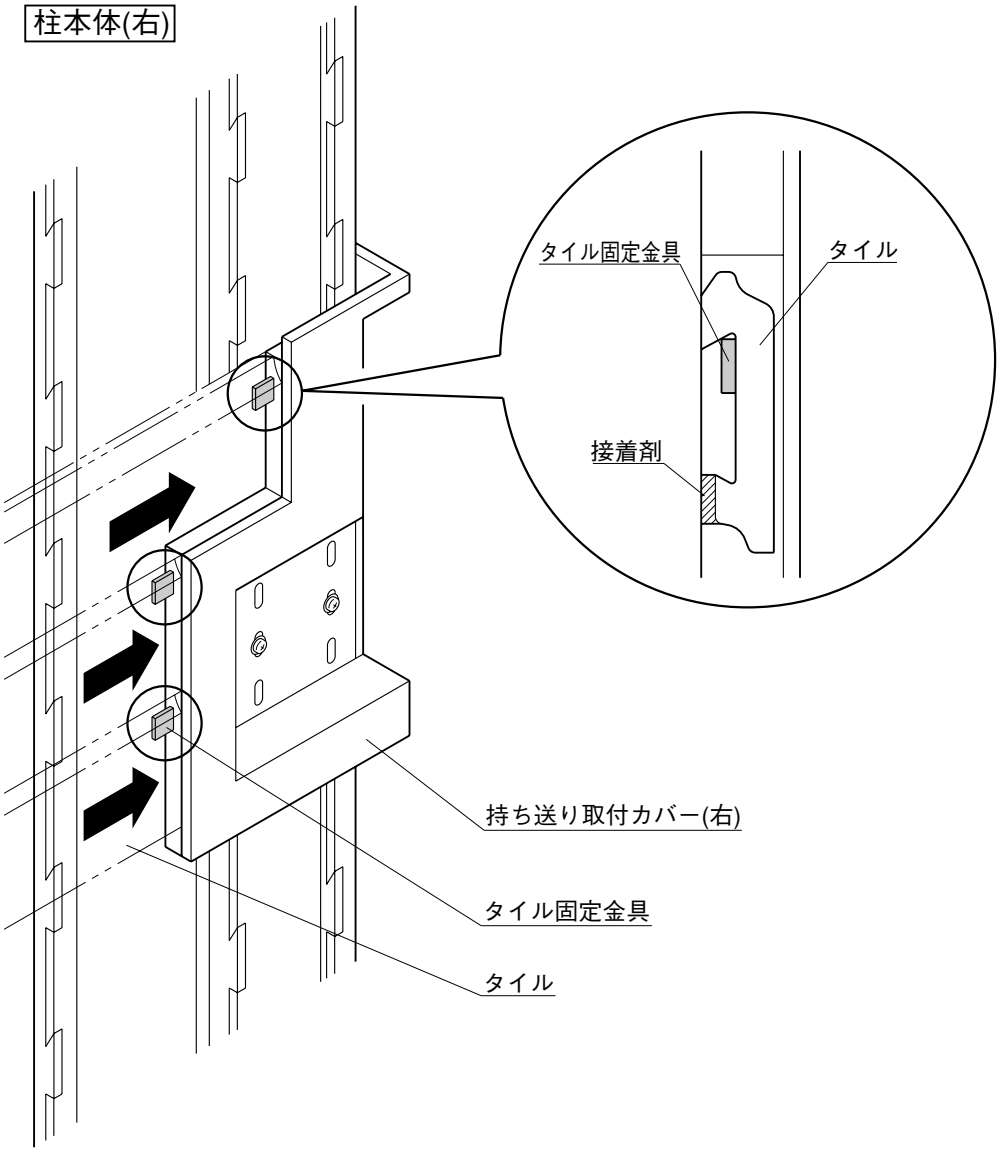
柱本体(左)

2 タイルのカット
下図の通りタイルをカットして下さい。
※カット面を持ち送り取付カバー部内に納めた方が目地がキレイに揃います。



A365_200208A

7-4.持ち送りカバー部のタイル張り

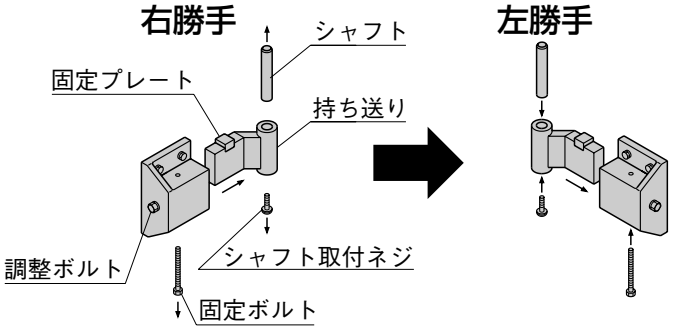


1 タイルを張る部分まで接着剤を塗ります。

2 タイルを矢印方向より差し込んで、タイル固定金具に引っ掛けて張り付けて下さい。

※柱本体(左)についても同様の作業を行って下さい。

8.調整金具の勝手変更



❶ 固定ボルトをはずし調整ボルトをゆるめ、持ち送り、固定プレートをはずしてください。

❷ シャフト取付ネジをはずし、シャフトを持ち送りの逆側へ入れ替え、取付けてください。

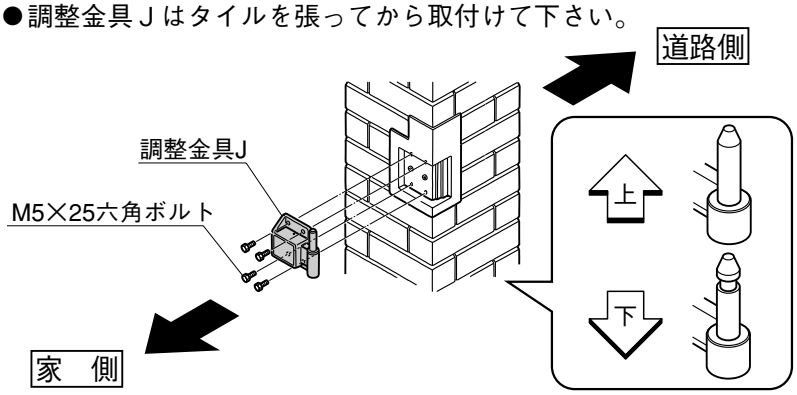
❸ 調整ボルトを締め、固定ボルトで持ち送り、固定プレートを固定してください。

A365_200208A

9.調整金具の取付け

1持ち送りの取付け

●調整金具Ｊはタイルを張ってから取付けて下さい。



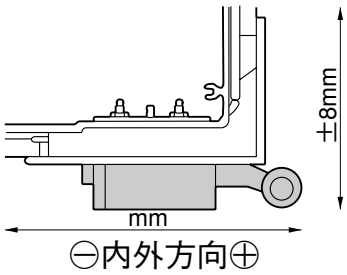
①調整金具本体を持ち送り取付けカバーへボルト止めします。

＜注 意＞

● 調整金具には上・下があります。

②寸法の調整を行って下さい。(錠の取説を参照下さい。)

調整範囲

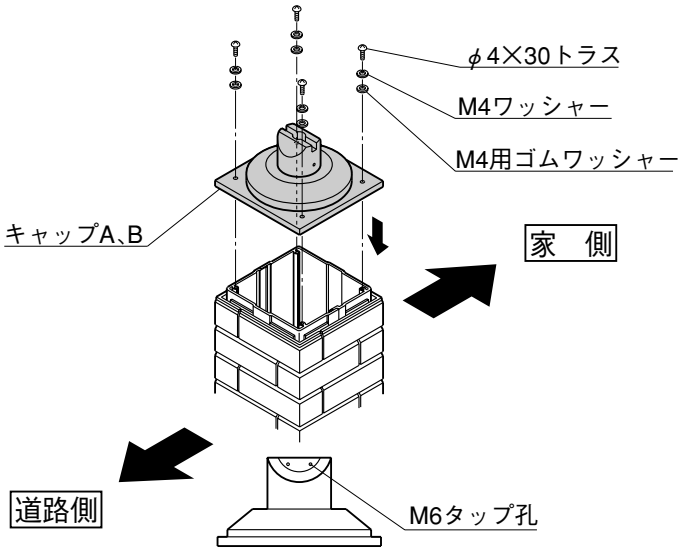


門　　扉		ヒンジ芯々寸法	間口方向調整範囲
持ち送り軸径及び品種	W		
ヒンジ芯φ13	600	1237(2W+37)	＋11 －6 (アーチＨタイプのみ±6)
	700	1437(2W+37)	
	800	1637(2W+37)	
	900	1837(2W+37)	

10.キャップの取付け

キャップＡ、Ｂの取付け

1キャップＡ，Ｂの向きを家側から見た時、Ｍ６タップ孔(２箇所)がある方を家側に向けて、φ４×30トラスビスで固定して下さい。

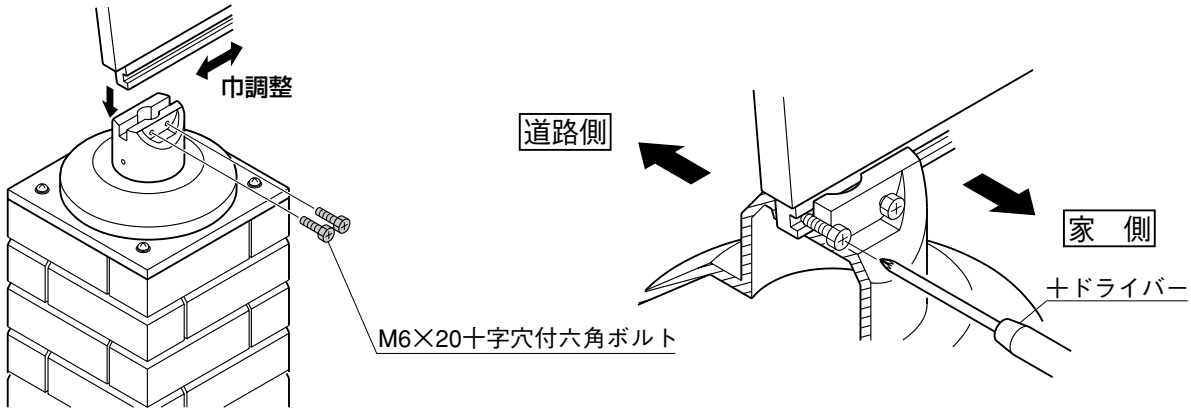


キャップＡ，Ｂを家側から見た図

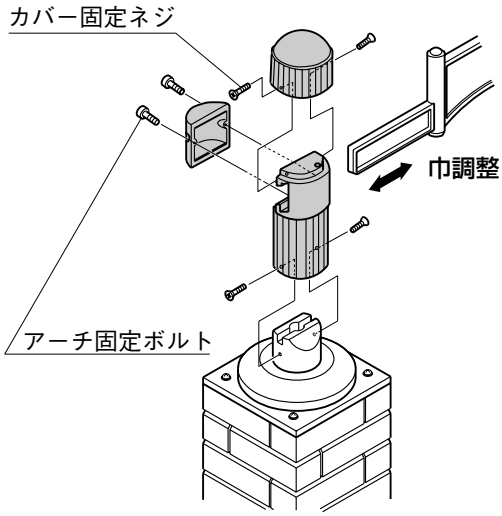
A365_200208A

11.アーチの取付け

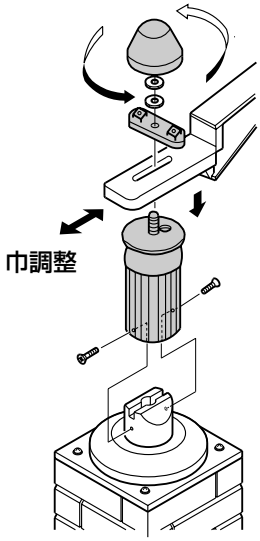
1 アーチA、E、F、G、I、Jタイプの取付け



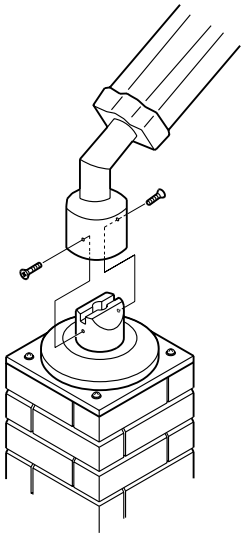
2 アーチBタイプの取付け



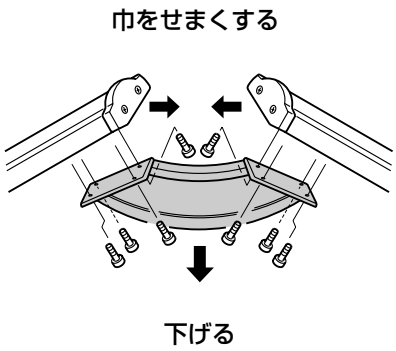
3 アーチDタイプの取付け



4 アーチHタイプの取付け



アーチHタイプ寸法調整

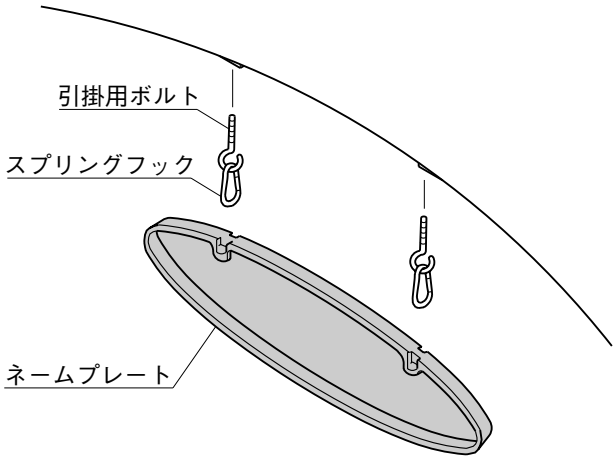


12.オプション部品の取付け

1 ネームプレートの取付け

1 ネームプレートセットの中に入っている
ボルトをアーチに取付けて下さい。

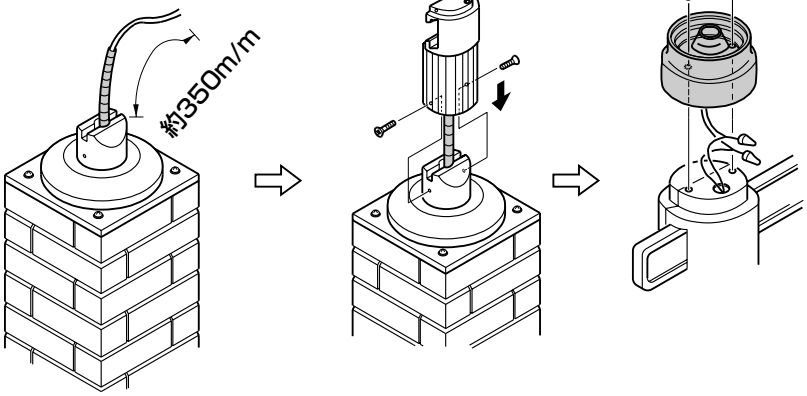
2 アーチに付いたボルトにフックを掛けて
最後にネームプレートを付けて下さい。



2 照明の組付け (照明取付可能アーチB、Dタイプのみ)
キャップ取付時にCD管を引き出して下さい。

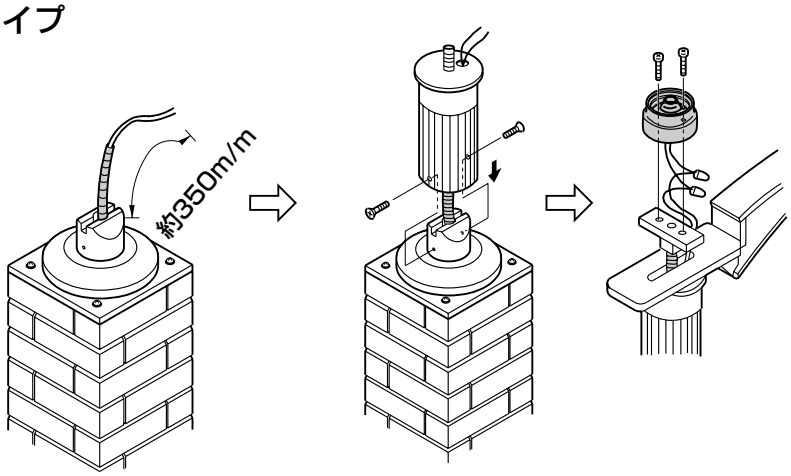
Bタイプ

CD管を使って配線
して下さい(100V)



●照明台座と接続し、M5ネジで固定し
てグローブをネジ込んで下さい。

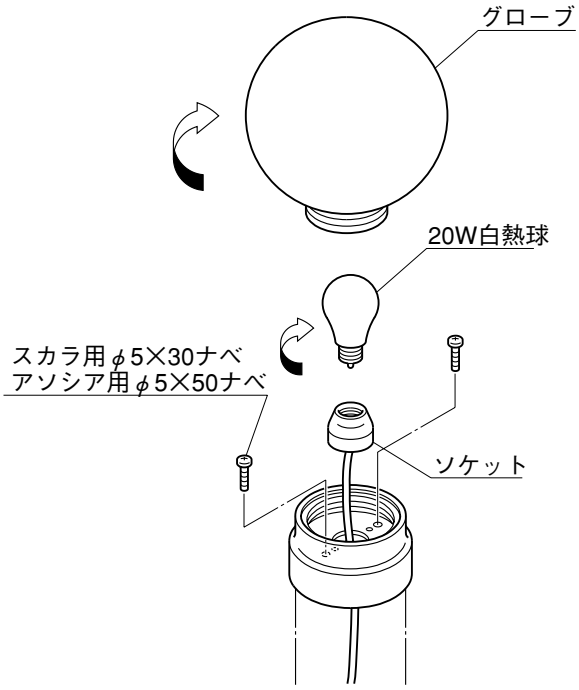
Dタイプ



●照明台座と接続し、M5ネジで固定し
てグローブをネジ込んで下さい。

A365_200208A

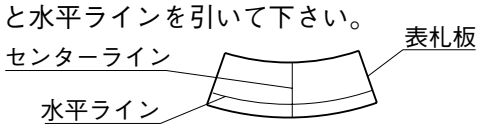
照明セットの取付け



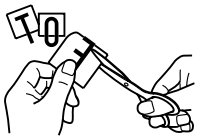
圧着端子にて各アーチに接続

ネームシールの貼り方(Hタイプのみ)

1 シールを貼る場所にあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引いて下さい。



2 文字を切らない様に裏紙のみをハサミで５分の１程度切って下さい。



3 水平ラインと文字の下づらを合わせ、字間を等間かくにしながら仮り貼りして下さい。
(ずれた時は直して下さい)

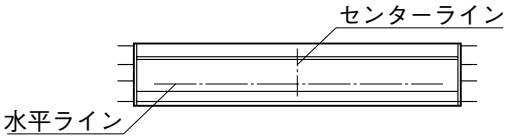
センターラインから左右に貼る

4 裏紙をはがし、はがれない様にシールを押さえ、センターラインと水平ラインを消せば完了です。

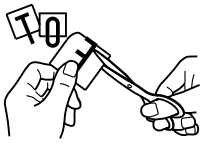
ネームシールの貼り方

ネームシールの貼り方(Jタイプのみ)

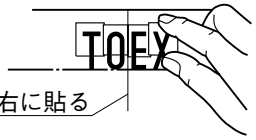
1 シールを貼る場所にあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引いて下さい。



2 文字を切らない様に裏紙のみをハサミで5分の1程度切って下さい。



3 水平ラインと文字の下づらを合わせ、字間を等間かくにしながら仮り貼りして下さい。(ずれた時は直して下さい)

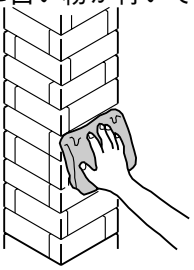


センターラインから左右に貼る

4 裏紙をはがし、はがれない様にシールを押さえ、センターラインと水平ラインを消せば完了です。

タイル清掃

● タイルの表面に白い粉が付いていますが、水拭きで簡単にとれます。酸洗いや溶剤拭きは行わないで下さい。



<水拭き>

A365_200208A

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。
  硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡し下さい。
- タイルの破損等でタイルを交換される場合は、絶対にタイル引っ掛けフィンを露出したままにされないで下さい。
  (タイル引っ掛けフィンは尖っていて手等を切る恐れがあります。)

- 御使用いただきましてありがとうございました。次回も当社の製品を御使用下さい。

取説コード
A365

200208A_1001